

「地域金融力の強化に関するワーキング・グループ」（第４回）における意見書

日時：2025 年 12 月 4 日（木）

日本商工会議所

◆意見

わが国の多くの中小企業は、人口減少・市場縮小・後継者不足など構造的な課題に直面しており、資金調達だけでなく「経営改善」「事業承継」「事業再構築」「地域との連携による新事業創出」などの支援ニーズが高まっている。地域金融機関が、単なる預貸業務にとどまらず、こうした経営支援、事業承継支援、地域インフラ維持支援なども視野に入れた「地域金融力」を発揮することは、地域経済の持続性を支えるうえで極めて重要である。WGで議論されている、地域金融機関による地方創生・地域支援の取組み事例や、支援体制整備の方向性は、地域中小企業の期待に応えるものと評価できる。

地域金融機関が幅広く地域支援に関与するには、従来の枠組みを超えた柔軟性が求められる一方で、経営健全性・信用リスク管理の観点も不可欠である。過度なモニタリングにならないよう配慮しつつ、制度改正により、金融機関の経営基盤を強化しつつ、地域支援への関与を促すようなバランスが取られるべきであり、日商としてもこの方向性を支持したい。

地域金融力の強化という視点は、地域の中小企業と地場産業が持続・発展していくための重要なインフラ整備である。日商としては、地域金融機関の果たすべき役割の拡大・強化を歓迎するとともに、引き続き、制度設計の過程において中小企業・地場産業の実情を十分に反映することを強く求めたい。

今後とも、商工会議所が地域金融機関との連携を通じ、地域の持続可能な発展に資する政策の実現に協力していきたい。

以 上